

令和6年度入学者選抜試験

学校推薦型選抜問題

小論文 (120分)

(看護学科・現代福祉学科・子ども学科)

注 意

- 1 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
- 2 この問題冊子は、5ページあります。
- 3 解答用紙は2枚、下書き用紙は2枚あります。解答用紙には解答欄以外に受験番号欄と氏名欄があるので、監督者の指示に従って、それぞれ正しく記入しなさい。
ただし、得点欄と整理番号欄は記入してはいけません。
なお、解答は最初のひとマスを開けず、改行せずに続けて記入しなさい。
また、行末以外は句読点も1文字分として当てなさい。
- 4 試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁および解答用紙の汚れ等に気付いた場合は、手を挙げて監督者に知らせなさい。
- 5 問題冊子の余白等は適宜利用してよいが、どのページも切り離してはいけません。
- 6 下書き用紙は、下書き等に利用してもよろしい。
- 7 試験終了後、下書き用紙および問題冊子は持ち帰りなさい。

問題 1 次の文章は、『ケアの社会学 当事者主権の福祉社会へ』という著書の一部です。この文章を読んで、設問 1 および設問 2 に答えなさい。

著作権の観点から、公表していません。

《参考》

(著) 上野 千鶴子
ケアの社会学 当事者主権の福祉社会へ
株式会社 太田出版、2011 年初版第 1 刷
7 頁～8 頁から抜粋して引用
66 頁～67 頁から抜粋して引用

著作権の観点から、公表していません。

(出典：上野千鶴子著 『ケアの社会学 当事者主権の福祉社会へ』より抜粋、太田出版 2011年)

出題者注

原典でつけられていた注釈番号の記述は省略した。

*¹ インフレーション；膨らんだ状態

*² ワーカークライアント関係；援助者とサービス利用者の対人関係のこと

*³ パターナリズム；本人の意向とは関係なく、サービス供給側が介入や支援を行うこと

設問 1 文中下線 ケアの受け手と与え手の関係は非対称であることを問題化すべき理由について、文中の言葉を用いて 100 字以内で説明しなさい。(40 点)

設問 2 「当事者主権」という概念がなぜ必要なのかを、筆者の考えをふまえながら、具体的ケア関係の例を挙げ、あなたの考えを 400 字以内で記述しなさい。(60 点)

問題 2 次の文章は、『対人援助のカウンセリング その理論と看護・福祉のケース・スタディ』という著書の一部です。この文章を読んで、設問 1 および設問 2 に答えなさい。

著作権の観点から、公表していません。

《参考》

(編著) 奥田 いさよ
対人援助のカウンセリング その理論と看護・福祉のケース・スタディ
図書出版 川島書店
34 頁～35 頁を引用

著作権の観点から、公表していません。

(出典：奥田いさよ編著 『対人援助のカウンセリング その理論と看護・福祉のケース・スタディ』より抜粋、川島書店 1991年)

出題者注

「行なう」(下線 原文どおり)

設問 1 筆者のいう「言語コミュニケーション」の限界とは何か、筆者の言葉を用いて120字以内で説明しなさい。(40点)

設問 2 下線部について、筆者が指摘する「正確なコミュニケーション」とはならない場面を具体的に挙げたうえで、それがなぜ正確なコミュニケーションとならないのか、350字以内で述べなさい。(60点)